

【目的】「男らしさ」「女らしさ」に関する研究は、心理学の分野を中心に性役割意識の側面から数多くの研究がなされている。しかし「男らしさ」「女らしさ」の表現が常に求められる服装の分野での研究はほとんど見られない。そこで著者らは、これらの意識と服装行動との関連性を検討するために、その予備段階として「男らしさ」「女らしさ」および「男らしい服装」「女らしい服装」についてのイメージ用語を収集し、それぞれの男女間の差異について考察するとともに相互の関連について検討した。

【方法】自由記述によって収集したそれぞれのイメージ用語について、出現頻度をもとに度数表を作成し、既報の研究における用語との比較を行うとともに、比率の差の検定による男女間の差異について検討した。被験者は、近畿圏内の大学および短期大学の学生（男子177名、女子162名）で、1991年6月に集合調査法で実施した。

【結果】（1）「男らしさ」「女らしさ」に関しては、既報の研究とほぼ同じ様なイメージ用語が得られたが、「男らしさ」については、新たに「やさしい」「思いやりのある」の用語が高い頻度で抽出された。「女らしさ」については、男子が「可愛い」など外面的なイメージを強く持っているのに対して、女子は「やさしい」など内面的なイメージを強く持っているという結果が得られた。「男らしい服装」「女らしい服装」に関しては、男子が「自分らしい」のように内面的な個性を強くイメージするのに対して、女子は外面的な形状を強くイメージするなど男女間に差異が見られた。また「男らしさ」と「男らしい服装」、「女らしさ」と「女らしい服装」との間にはやはり関連が見られた。